その灯りが、街をつなぐ。

生活圏と行動経済圏をつなぐ モビリティプラットフォームへの挑戦

株式会社セブン・イレブン・ジャパン
子野日 純介さん




子野日 純介。
アメリカ生まれ、
シンガポール・香港育ち。
高校・大学とエリート街道を
進んでいた。
音楽に出会うまでは
――!!
気が付けば、
バンド活動に明け暮れていた
「プロになる」
その夢にまっしぐらだった。
その夢を
追い続けること
10年――


夢は、
かなわなかった
でも、あの時作った
チラシ、グッズ広告。
あの日々が――
今の自分の
強みになっている
現在に至るまで
妻と娘、息子の
4人家族
週末はドッジボールの
監督
とにかく、
明るく元気に
やってきた
…でも今回の
挑戦は
笑えない


ある夜の
セブンイレブン




帰る足のない人が
街にはいる


動きたくても、
動けない人がいる


…私の娘も、
帰りはこの夜道だ

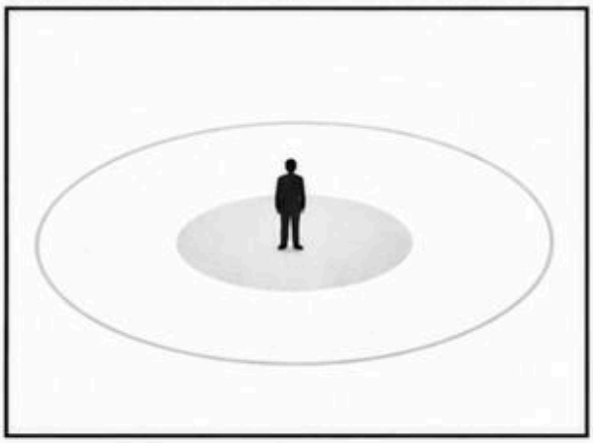

2023年。
杉浦室長との会話がきっかけだった
挑戦して、失敗した。
だが、失敗は無駄にはならなかった
店にいうのは街にとって何なのか
俺はそれを考え続けている
挑戦して、転んで、それでも次を立ち上げる人――
杉浦室長が立ち上げたのは、リテールメディア事業だった
この背中を、いつか追いつき、追い越したい


『人がいつ、
どこへ向かうか』
を見る仕事だ。


リテールメディア。
広告の顔として、


人の暮らしには
街の動きが映っている


店は、物を買う場所であると同時に、
街の動きが集まる場所でもある




人の動きを見てきた私だから、
見えてきたことがあった


人の世界は
2つの圏でできている。


毎日の暮らしの範囲
——生活圏


外へ広がり、消費と
体験が生まれる世界——
行動経済圏


ところが、「移動」を失うと
その往復は止まり
人の世界は狭まっていく


2つの圏を、
もう一度つなぐことは
できないか……


例えば、免許を返納した
おばあさんがいたとする
わるいねぇ
今度の休み、病院へ
連れてってくれるかい？
これからは、
自分の都合で
出かけられないね…
遠くに出かけるのは、
誰かの都合が会う日だけに
足を失うことは、
『選ぶ権利』を失うことだった
安全のため、
何より家族のために…


はたまた、
夜道を歩く子どもたちも


私の娘と同じ
年頃の子どもも、例外ではない


バスが消えていく街では、
『出かけること』自体が難しくなる


これは、
『移動のインフラ』そのものの問題だ


やるなら、私たちだから
できるやり方で…


生活圏×行動経済圏

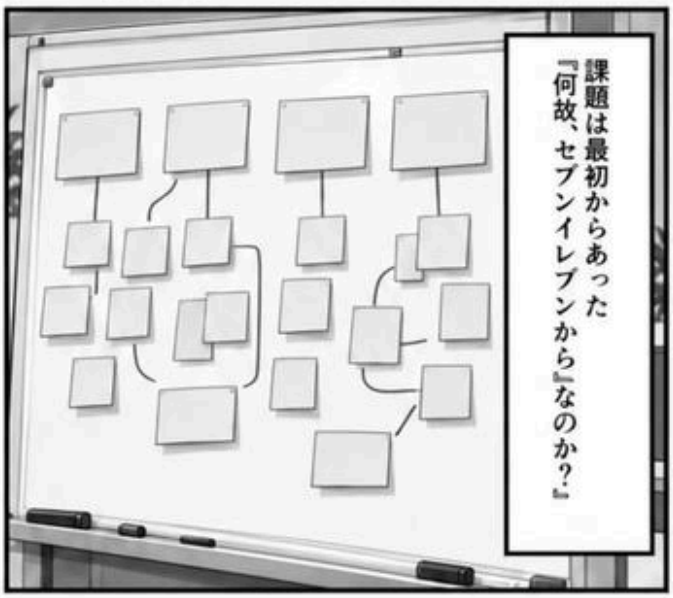

本事業案を
メンバー全員の前で発表する
機会が訪れた
今日は、企画の説明と
仲間を集めに来ました
彼は魚住さん。
年初に「何でも挑戦したい！」
と言っていたので声をかけた
いいですね、
その話！
顧客起点で体験を創る人。
私には足りない力を
補ってくれる人だ。


もう一人、声をかけたい
人物がいた——
小葉竹さん。
仕事ではない時間の
事業案……
誘っていいものか
迷っていた
その話、
僕も入れて
もらえますか
彼のほうから
声をかけてくれた。
本当に嬉しかった。
事業を作る者、体験を創る者、
そして技術で実現する者
異なる強みを持つ
3人で、構想を
磨き込む
私たちのチームは、
こうして結集した




――で、
何故、セブンイレブンが
車を走らせるの？


それは……


課題は最初からあった
『何故、セブンイレブンから』なのか？』


便利さを並べるほど、
『私たち』でなければならない理由は消えていく…


ただただ
車を走らせるだけなら、
自動車メーカーやタクシーの仕事だ


まず体験だ。
乗った瞬間に「違う」と
思わせないと、人は
使わない
その前に、技術的に
成立させなければ
絵に描いた餅です
どちらも大事だ。
だが、続けられなければ
事業にはならない
それぞれが正しい。
ただ、その正しさが
どうしてもかみ合わなかった
答えは……
まだ見えない
ままだった


先生、A君、
今日もきてないよ


週末
私はいつもの体育館にいた


…!!


お迎えが
なくなったんだって…
だから来れないって


これは…
便利の話ではなかったのだ、と


その時、私は思い出した
移動できないことは、
機会を失うこと


そして
あの夜、私はふと窓の外を見た
24時間灯り続ける明かりが、
もうあるじゃないか
主役は、車ではなかった
私たちが見るべきなのは
『拠点』だ。
店を移動の拠点として、
車と繋ぐ
見つけたかもしれない
『私たち』でないといけない理由を
それだ！
その形なら、
技術も組める


近い未来——
街はセブンイレブンを中心に
変わった
今日は病院の日
自分の都合で
出かけられるわ
生活圏を外。平等に、人々が
行動経済圏へ
人の世界は、セブンイレブン
を中心に広がっていく


面白くなってきたな。
そうだろう？
背中までは、まだ遠い。
でも、確かに一歩
24時間灯るセブンイレブンと、
24時間走る車が結ばれる街で
その灯りが、
街をつなぐ。
生活圏と行動経済圏をつなぐ
モビリティプラットフォームへの挑戦
子どもたちに、
明るい未来を!!